

**今** 年度の施政方針を、3月4日の第1回五霞町議会定例会において、染谷町長が表明しました。

なお、全文については、町公式ホームページにて公開します。



**はじめに**

新型コロナウイルス感染症は、未だに世界で猛威をふるい続けております。

日本においても、2月以降は感染者数が減少傾向にあるものの、依然として収束が見えない中、町民の生命と健康を守るため、献身的にご尽力いただいております医療従事者の方を始めとする皆様

に、改めて感謝申し上げます。本町においては、国・県の支援事業を踏まえ、「町民の生命を守る」「町民の暮らしを守る」「五霞の活力を守る」ために、公共施設や避難所等の感染症対策を実施した一方、子育て世帯への応援給付金の支給や町内企業応援のためプレミアム商品券などによる消費喚起支援など、目の前の課題解決に最善を尽くして取り組んできたところです。

皆様には、どうか、本町のまちづくりへの意欲を維持していただき、新型コロナウイルス感染症が収束した際には、一段とレベルアップして町とともに取り組んでいただけますようご協力のほど、よろしくお願いいたします。

**これまでの取組について**

令和2年度は、第6次五霞町総合計画の初年度であり、新型コロナウイルス感染症対策を最優先に取り組みつつ、各施策を着実に進めて参りました。

**○圏央道五霞インターチェンジ周辺開発事業**

・7社の進出企業が決定し、税収面では、昨年度2億円を超える収入を確保

・道の駅ごかの拡充を含め、町の活性化を図るために道の駅の後背地を購入

・「Street Sports park GOKA」オープン

**○防災・減災対策**

・車両ごと避難できるよう情報・防災ステーションごか隣接地に一時避難所を整備

**○学校教育**

・より良い教育環境を整備するため「五霞町立小学校統合及び小中一貫教育基本方針」を策定  
**○学校教育の環境整備**  
 ・児童生徒1人1台の学習用端末と通信ネットワークを整備



# 令和3年度 町長施政方針

**今後の主な施策展開について**

「SDGs」(17の目標と169のターゲット)の視点を総合計画のあらゆる分野で本町の実情に合わせて取り込みながら、各施策を展開してまいります。

**第1章 まちのかたち 「ブランドデザイン」**

**○都市基盤の分野**

・新たな産業系の土地利用の検討  
 ・市街化調整区域内に住宅等の立地が可能となるよう区域指定を検討

**○主要幹線道路の整備**

・令和3年度末の供用開始を目指し、町道5号線を整備

**○空家対策**

・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、空家を利用した地方移住の推進

**○防災・減災対策**

・感染防止対策に配慮した防災・危機管理体制の強化

**第2章 ひたすら 「ライフデザイン」**

**○学校教育の分野**

・学習用端末を活用したICT教育の推進

**○保育の分野**

・認定こども園五霞幼稚園・保育園の園舎建替えに対する支援

**○健康の分野**

・安全かつ円滑にワクチン接種できるよう、猿島郡医師会との連携による接種体制の構築

**第3章 まちのしくみづくり 「ソーシャルデザイン」**

○道の駅ごかを拠点とした新たな地域活性化事業

・町と連携しながら地域資源の掘りおこしや商品開発等を展開するため、(株)五霞まちづくり交流センター内に新たな拠点を整備

**○情報発信の分野**

・情報発信アプリ「まがファンクラブ」による町内外への魅力発信

**第4章 まちのしごと 「行財政運営」**

**○地方創生推進事業**

・企業版ふるさと納税や各種地方創生交付金制度を活用した事業の推進

・本町の立地優位性を活かした移住施策の推進

**結びに**

一日も早く平穏な日常生活を取り戻すことができるよう、新型コロナウイルス感染症拡大防止を最優先に取り組むとともに、自治体の使命である「住民福祉の増進」のため、精一杯取り組んでまいります。

今後「小さくてもキラリと輝くまちづくり」を旗印に、町民の皆様、団体・企業の皆様とともに、全職員一丸となって、この困難に取り組んで難局を乗り越えていきたいと考えております。